



建交労



2019年10月20日
建交労神奈川県南支部

2019年秋季年末闘争
推進ニュース 60 通算 159 号
発行責任者 佐藤 章

川崎労連が第30回定期大会を開催！ 建交労から代議員2名と役員3名が出席

川崎労連は10月20日13時30分から川崎市教育文化会館で第30回定期大会を開催し、代議員・役員と来賓60余名が結集しました。建交労神奈川県南支部からは代議員の佐藤委員長と赤羽組員、川崎労連事務局次長の大島書記長、幹事の金崎書記次長、会計監査の佐藤執行委員の5名が出席しました。

菅野明議長は主催者挨拶のなかで、台風19号の被害は川崎市内にも広がっていると報告し被災者へのお見舞い述べると共に安倍政権の被災者への冷たい対応と憲法9条改悪を焦点に「戦争する国」づくりに血道をあげる暴走を批判しました。また、労働者・国民が安心して働き・暮らせる社会を実現するために川崎労連を強く大きくしていこうと呼びかけました。

来賓には神奈川労連の住谷議長をはじめ、神奈川労働センター川崎支所、川崎医療生協、川崎合同法律事務所、川崎北合同法律事務所、川崎市社会保障推進協議会、日本共産党の片柳進川崎市議会議員と君嶋ちか子神奈川県議会議員が駆けつけて、情勢報告や連帯・激励あいさつ・訴えなどがされました。

つづいて緑陽苑とのたたかいに勝利して職場復帰をはたした佐藤正樹事務局長が経過報告と新年度方針を、大貫春男副議長が財政報告・予算案を提案して休憩後討論に入りました。

討論のトップには建交労の赤羽代議員が立って、日弁連の弁護士と共同で行ったトラック労働者との対話とアンケート活動にも触れながらトラック労働者の組織化と幹部活動家育成の決意を表明しました。また三昭運輸分会の争議を報告し労働委員会での早期救済命令を勝ちとり悪質社労士を職場から追放するために支援を訴えました。

討論では全体で7名が発言をして、佐藤事務局長がまとめをおこない採決に入りすべての議案を全会一致で採択しました。

事務局次長の大島支部書記長は重要な任務を担う

役員選挙では事務局次長に再選された県南支部の大島書記長（写真左上）が大貫副議長とともに、職場復帰をはたした佐藤事務局長を支える重要な役割を担うことになりました。また、金崎書記次長（写真左下）も幹事に再選されました。



上から菅野議長、住谷議長、佐藤事務局長

